



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年4月14日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社 ブロンコビリー

コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹市 克弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 古田 光浩

TEL 052-775-8000

四半期報告書提出予定日 平成28年4月26日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	4,413	18.3	774	36.1	775	35.8	496	42.0
27年12月期第1四半期	3,731	22.7	568	19.9	571	19.7	349	20.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	32.97	—
27年12月期第1四半期	23.22	—

(注)当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第1四半期	15,132	12,670	83.7	840.77
27年12月期	14,959	12,322	82.4	817.64

(参考)自己資本 28年12月期第1四半期 12,670百万円 27年12月期 12,322百万円

(注)当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	18.00	—	9.00	—
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年12月期第2四半期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成28年12月期の業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,770	16.2	1,300	21.6	1,315	22.2	850	27.1	56.40
通期	18,500	16.2	2,800	14.3	2,850	15.7	1,860	14.4	123.42

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期1Q	15,070,800 株	27年12月期	15,070,800 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

28年12月期1Q	592 株	27年12月期	592 株
-----------	-------	---------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年12月期1Q	15,070,208 株	27年12月期1Q	15,070,208 株
-----------	--------------	-----------	--------------

(注)当社は、平成27年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業業績や雇用環境の改善が見られる一方、消費者物価の上昇や株価の下落、円相場の不安定な動き等により、消費マインドは足踏み状態となり、景気の先行き不透明な状況が続いております。外食産業におきましては、原材料価格の高騰や、人件費関連コストの上昇が続く一方、消費者の節約志向が一段と強まる傾向となっており、中食を含めた熾烈な競争が深まっており、業界全体として厳しい状況で推移しております。

当社ではこのような環境下、ご家庭では味わうことのできない「できたて」の美味しい料理と気持ちよいサービス、楽しい店づくりを通じた「心地よいひととき」を提供する「ご馳走レストラン」のコンセプトにお客様の外食に求めるニーズを見出し、その実現に取り組んでおります。

商品面では、ファクトリー(自社工場)の商品開発力に支えられた調達力を活かし、原価率の低減とおいしい料理のための原料・食材を求めて調達先を開拓してまいりました。その結果、新たに調達した肉原料を「アリゾナグレイnbrブロッコリーステーキ」や「やわらかヒレステーキ」等の地域及び期間限定メニューとして展開し、お客様からのご好評をいただくことができました。また、店舗では前年に導入のスチームコンベクションオーブンを活用し、サラダバーではポテトサラダやコーン、旬の惣菜サラダ、スイーツメニューではチーズケーキ等を調理し、調理力を向上させてまいりました。

店舗面では、当期出店計画を着実に進めるとともに、新店での導入で効果を上げておりますデジタルサイネージを既存店全店へ導入を進めました。更に創業期より営業しております守山店(愛知県)を新店同様のレイアウトと装備にする大規模な改装を行った他、既存店5店舗の改装を実施しました。

販促面では、当社の強みであるリピーター作りの販促に加えて、新規顧客の獲得に注力いたしました。新たに「デジタル広告」や「ポスティングチラシ」等を実施した他、モバイル化したキッズクラブでは、毎月の「お誕生日企画」や「春のお祝いキャンペーン」の他、卒業シーズンには誘引が少ない小学6年生向けの「キッズクラブ卒業おめでとうキャンペーン」等を実施し、顧客の掘り起こしにも取り組みました。

以上の結果、既存店の売上高増に加え前年に開店した店舗の貢献により、売上高44億13百万円(前年同期比18.3%増)、利益面では、継続して取り組んだ原価率の改善が奏功し、営業利益7億74百万円(同36.1%増)、経常利益7億75百万円(同35.8%増)四半期純利益4億96百万円(同42.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は151億32百万円(前事業年度末149億59百万円)となり1億72百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が1億32百万円及び新規出店等により有形固定資産が96百万円増加した一方、原材料が75百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は24億61百万円(前事業年度末26億37百万円)となり1億75百万円減少いたしました。その主な要因は、短期借入金が増加した一方、未払金が57百万円及び未払法人税等が2億19百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は126億70百万円(前事業年度末123億22百万円)となり3億48百万円増加し、自己資本比率は83.7%(前事業年度末82.4%)となりました。その主な要因は、四半期純利益の増加と配当金の支払い等により利益剰余金が3億61百万円増加したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月19日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777,251	6,909,885
売掛金	174,187	165,130
商品及び製品	65,834	40,046
原材料及び貯蔵品	301,589	233,930
その他	213,374	245,908
流動資産合計	7,532,238	7,594,902
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,199,917	4,360,288
構築物(純額)	475,029	524,525
工具、器具及び備品(純額)	607,781	654,674
土地	389,999	389,999
その他(純額)	438,980	278,686
有形固定資産合計	6,111,708	6,208,174
無形固定資産	127,374	138,550
投資その他の資産		
差入保証金	862,422	881,964
その他	325,950	308,656
投資その他の資産合計	1,188,372	1,190,620
固定資産合計	7,427,455	7,537,344
資産合計	14,959,693	15,132,247
負債の部		
流動負債		
買掛金	430,425	375,853
短期借入金	106,508	250,034
リース債務	10,662	10,662
未払金	769,418	712,198
未払法人税等	498,815	279,271
賞与引当金	29,253	117,091
販売促進引当金	20,014	18,513
その他	313,783	236,887
流動負債合計	2,178,880	2,000,513
固定負債		
リース債務	171,035	168,369
資産除去債務	265,033	270,979
その他	22,699	21,849
固定負債合計	458,768	461,197
負債合計	2,637,648	2,461,710

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,199,210	2,199,210
資本剰余金	2,109,210	2,109,210
利益剰余金	7,993,395	8,354,700
自己株式	△567	△567
株主資本合計	12,301,249	12,662,554
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20,796	7,982
評価・換算差額等合計	20,796	7,982
純資産合計	12,322,045	12,670,536
負債純資産合計	14,959,693	15,132,247

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	3,731,841	4,413,726
売上原価	1,043,105	1,184,148
売上総利益	2,688,735	3,229,578
販売費及び一般管理費	2,120,126	2,455,569
営業利益	568,608	774,009
営業外収益		
受取利息	1,108	1,103
受取配当金	3	5
受取賃貸料	5,310	5,310
受取保険金	43	527
協賛金収入	2,126	800
その他	180	178
営業外収益合計	8,772	7,924
営業外費用		
支払利息	190	129
賃貸費用	5,197	5,198
その他	885	1,029
営業外費用合計	6,274	6,356
経常利益	571,107	775,577
特別利益		
固定資産売却益	1,449	-
特別利益合計	1,449	-
特別損失		
固定資産除売却損	1,098	22,826
特別損失合計	1,098	22,826
税引前四半期純利益	571,459	752,750
法人税、住民税及び事業税	219,669	260,705
法人税等調整額	1,862	△4,891
法人税等合計	221,532	255,814
四半期純利益	349,927	496,936

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。